

見ごろの植物マップ

2023年/9月上旬～



⑦サルスベリ



⑥ミソハギ

- アイコンについて
- お手洗い
 - ※車椅子での利用・おむつ買入可能
 - 売店
 - 自販機

⑤ガマ

④ムラサキナツフジ

※天候により見ごろが前後する場合があります。

①タマスダレ



科名：ヒガンバナ科
場所：あじさい園

タマスダレ(玉簾)は別名「レインリリー」と呼ばれ、まとまった雨後に一斉に花茎を伸ばし開花することに由来します。和名は、純白の寶石のような花を「玉」、細長い葉が集まっている様子を「すだれ」に見立てて付けられたと言われています。

②入り口花壇



場所：管理事務所手前

第2・第3駐車場から管理事務所へ向かう道中、交差点のすぐ側にある花壇です。たくさんの蝶が飛び交い、ジニアやペゴニア、センニチコウなど、この暑さの中でも元気いっぱいです。お花畑にいるようで大変見応えがあります。

③ムクゲ



科名：アオイ科
場所：花木園

中国などの東アジアを原産とする落葉樹。世界中の温帯で広く育てられ、日本では江戸時代から多くの品種が作られています。花弁は五弁の一重、八重、半八重咲きがあり、色はピンク、白、紅紫、水色などがあります。

④ムラサキナツフジ



科名：マメ科
場所：藤棚池周り

台湾～中国南部を原産地とするサッコウフジの中で、特に濃い紫色の花を咲かせるものがムラサキナツフジと呼ばれています。花や花房はフジに似ますが、花房はフジのように下垂せず、湾曲し上を向きます。

⑤ガマ



科名：ガマ科
場所：藤棚池

温帯北半球から熱帯、オーストラリアなどに広く分布する多年生の草本。ガマの開花は6～8月。葉を超えるように突き出した花穂に、アメリカンドックのような花が咲きます。果穂は熟しきると自然に裂け、綿毛を持った種子が飛んでいきます。

⑥ミソハギ



科名：ミソハギ科
場所：藤棚池

お盆のころから初秋にかけて、紅紫色の花が穂状に咲きます。湿地や田んぼの畦(あぜ)など、日当たりがよく湿った場所を好んで生息しています。植物学者の牧野富太郎博士は、この花の和名を「禊萩(ミソハギ)」としています。

⑦サルスベリ



科名：ミソハギ科
場所：園内各所(中高木)

「百日紅」と漢字表記されるように、夏から秋にかけて次々と開花します。木肌がつるつるした特徴を持ち、サルも滑るといってえからサルスベリといわれています。花木園や園内各所でも木立のものをご覧ください。

ヒマワリの開花状況



科名：キク科
場所：大池周辺園路、スポーツハウス前

暑い中でも頑張って成長している蜻蛉池公園のヒマワリ。開花までの経過を見守るコーナーを作りました！蕾も膨らみ開花まであと一息です。職業体験の皆さんと一緒に植え付け頑張ってください。是非一緒に成長を見守ってくださいね。